

[令和5年12月6日]

重機燃料使用量集計アプリ「カーボンEye」を開発

～Scope1 排出量集計の効率化と高度化をめざして～

気候変動への対応が重要な課題となっている中、建設業界における温室効果ガス（GHG）排出量の管理も不可欠となっています。鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤 泰司）は、Scope1 排出量集計の効率化と高度化を実現するために、スマートフォンを活用して Scope1 排出量の計算に用いる重機の燃料使用量を集計する「カーボンEye」を、株式会社LisB（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：横井 太輔）と共同開発しました。

「カーボンEye」の目的

「カーボンEye」の目的は、以下の点に焦点を当てています。

・ **Scope1 排出量（主にCO₂）集計の効率化と高度化**

Scope 1 排出量の計算に用いる重機による燃料使用量を、スマートフォンと重機情報の入ったQRコードを活用して集計することで、Scope 1 排出量集計の効率化と高度化をめざします。

「カーボンEye」の特長

- 1. 容易な報告手続き：**
重機に設置したQRコードを読み取り、重機使用者が使用時間を簡単かつタイムリーに報告できるようにして、記録漏れを防止します。
- 2. 効率的な集計機能：**
Web アプリでは、重機燃料使用量算定のための、燃料・重機仕様・重機燃費マスターが簡単に登録でき、管理者と報告者のアカウント管理も、Botによる一部自動化や登録用QRコード等でスムーズに行えます。
- 3. 容易な記録管理：**
定時通知からその日の記録に直接アクセスでき、簡単に記録の確認と管理が行えます。

1 記録者は運転前に重機のQRコードを読み取り
使用時間を選択して送信。



記録者

2 管理者は必要に応じてWebアプリにアクセス。
自動で収集・集計された情報を管理。



現場管理者



※ソリューションご利用開始前に、事前設定やQRコード発行などを行っていただく必要があります。

「カーボンEye」の概要

「カーボンEye」は、Webアプリと直接の通知 (direct) を連携した包括的なソリューションです。

・Webアプリの機能：

- ・重機情報 QR コードの発行
- ・重機使用時間の記録
- ・燃料使用量の集計
- ・データの出力など

・direct 連携：

direct のトークに任意のタイミングで定時通知を送り、Webアプリへ直接誘導することで、業務の流れを迅速かつ円滑に進めることが可能です。

当社では、今後も業務プロセスの効率化と技術開発を通じて、気候変動への対応と業務の高度化を実現していきます。